

OECC

発表者:伊藤二郎

### 1. 会議の概要

- 名称:  
OptoElectronics and Communications Conference 2006
- 主催／共催機関:  
IEEE LEOS Taipei section, NSC, MOE etc
- 開催場所:  
Kaoshun, Taiwan
- 日時:  
2006.07.03 - 07.07
- 発表件数:
  - Oral: 305件(Invited39)
  - Poster: 105件
  - Post Deadline: 5件
- 歴史、スコープ:  
今年で11年目を迎えました。毎年アジア太平洋地域で開催されており、来年は横浜で開催される予定です。光ネットワーク、ファイバ、ファイバデバイス、光アクティブ・ネガティブデバイス、伝送システム技術など幅広い分野において最新の研究を行っているエンジニアや研究者に議論の場を提供しています。

### 2. 発表内容

- 伊藤二郎 ( Jiro Ito )  
**Number:** 5B2-2  
**Title:** Compact arrayed-waveguide grating using low-refractive index material filled trenches  
**Abstract:**導波路の両側に低屈折率材料を埋め込むことでATBの問題点を改善することを提案した。最小曲げ半径300  $\mu\text{m}$ 、最小損失7.33 dB、PDLが0.18 dBのAWGの作成に成功した。  
**反響と感想:**  
2度目の国際学会の発表であり、今回は落ち着いて発表に望むことができました。質疑応答ではAWGのクロストーク性能や損失特性が従来のAWGと比較して劣っていることが指摘されました。他の発表に関しては、誘電体導波路を用いた比屈折率差17%のAWGの作成といった自分の研究に近い発表もあり、とても貴重な時間を過ごしました。